Neio Associated Reposi	tory of Academic resouces					
Title	企業結合審査において用いられる経済分析の高度化に係る研究					
Sub Title	Research towards the refinement of merger analysis					
Author	久保, 研介(Kubo, Kensuke)					
Publisher	慶應義塾大学					
Publication year	2019					
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)					
JaLC DOI						
Abstract	本研究は、競争当局がM&Aの審査時に用いる経済学的な考え万及び手法の妥当性を、最近行われたM&Aを事後的に分析することで検証することを目的としている。具体的には、公正取引委員会にカマノ、2016年12月に承認された同本の元金社同士の統合(「元売統合)」に焦点を当てた。元売統合の審査に際し、公正取引委員会はガソリン元売市場の地理的範囲が日本全国に渡り、当該市場において元売会社間で水平的な競争が行われていると認定した。そして、輸入ガソリンの競争力が限定的であることを除けば、元売統合後に競争が減退することを懸念する理由はないと判断した。その上で、一定の輸入促進措置がとられることを条件に、2件の大型M&Aを容認したのである。とないという疑問であることを終けば、元売統合後に競争が減退することを懸念する理由はないと判断した。その上で、一定の輸入促進措置がとられることを条件に、2件の大型M&Aを容認したのである。 本研究の出発点は、公取受による上記判断の根拠となった経済モデルが、ガソリン市場における元売会社間の競争は、広域的に展開される元売段階の競争に加え、地域単位で展開される元売段階の競争に加え、地域単位で展開される元売段階の競争に加え、地域単位で展開される元売段階の競争にからいるではないかという疑問を認めに対して、「SS」」ごとのガソリン小売価格データを使った元売統合の事後検証を行っている。特に、元売統合はないかという問題を競をする。これを検証するため、本研究ではサービスステーション(「SS」」ごとのガソリン小売価格データを使った元売統合の事後検証を行っている。特に、元売統合によって外表段階の系列間競争が減った市場とそれ以外の市場とについて、統合前後における小売価格の変化を比較したとき、前者のほうが価格の上昇幅が大きしかと検証をがといる。2年計画の1年目である本年度は、SSごとのガソリン小売価格データ(2018年3月分)を購入し、大名を低し入手済なの2016年3月分と終合することで、以と東機セネラルの統合の客と化を持ている。 2年計画の1年目である本年度は、SSごとのガソリン小売価格データ(2018年3月分)を購入し、大名を低し入手済なの2016年3月分と終合することで、以と東機セネラルの新会がはよりないのではないからによりないがでは、JX系列と東域セネラル系列のSSの有無等)に関する情報を数値化した。これまでに実施した回帰が折からは、JX系列と東域セネラル系列のSSが併存する地域では、そうでない地域と比へ、2016年3月から2018年3月にかけての価格上昇幅が有意に高いという結果が得られているが、引続を背景を呼吸しないがではありために対したがでの場合では関節ができたがでいるではいまれているが、引続を背景を呼吸しないがではいからないがではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないがではいからないではいからないではいからないがではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないがのではいからないではいからないがのからないではいからないではいからないではいからないではいからないがではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないがではいからないではいからないではいからないがではいからないではいからないではいからないではいからないではいからないがではいからないではいからないではいからないがではいからないではいからないないがではいからないがではいからないがではいからないがではいからないがではいからないがではいからないがではいからないではいからないがではいからないではいからないがではいからないではいからないがではいからないがではいからないがではいからないがではいからないではいからないがではいか					

	a greater amount between March 2016 and March 2018 in regions where JX and Tonen General competed, relative to other regions. I am currently refining the econometric model and assessing the robustness of the results. In addition to these tasks, during the next year I would like to acquire data covering additional time periods to improve the quality of my analysis.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180263

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年度 学事振興資金 (個人研究) 研究成果実績報告書

研究代表者	所属	商学部	職名	准教授	補助額	500 (特B)千円
	氏名	久保 研介	氏名 (英語)	Kensuke Kubo		

研究課題 (日本語)

企業結合審査において用いられる経済分析の高度化に係る研究

研究課題 (英訳)

Research Towards the Refinement of Merger Analysis

1. 研究成果実績の概要

本研究は、競争当局が M&A の審査時に用いる経済学的な考え方及び手法の妥当性を、最近行われた M&A を事後的に分析することで検証することを目的としている。具体的には、公正取引委員会によって、2016 年 12 月に承認された石油元売会社同士の統合(「元売統合」)に焦点を当てた。元売統合の審査に際し、公正取引委員会はガソリン元売市場の地理的範囲が日本全国に渡り、当該市場において元売会社間で水平的な競争が行われていると認定した。そして、輸入ガソリンの競争力が限定的であることを除けば、元売統合後に競争が減退することを懸念する理由はないと判断した。その上で、一定の輸入促進措置がとられることを条件に、2 件の大型 M&A を容認したのである。

本研究の出発点は、公取委による上記判断の根拠となった経済モデルが、ガソリン市場の特徴を十分に捉えていないのではないかという疑問である。具体的には、ガソリン市場における元売会社間の競争は、広域的に展開される元売段階の競争に加え、地域単位で展開される小売段階の競争によって特徴づけられ、後者を考慮しなければ元売統合の効果を正確に予測できなかったのではないかという問題意識である。これを検証するため、本研究ではサービスステーション(「SS」)ごとのガソリン小売価格データを使った元売統合の事後検証を行っている。特に、元売統合によって小売段階の系列間競争が減った市場とそれ以外の市場とについて、統合前後における小売価格の変化を比較したとき、前者のほうが価格の上昇幅が大きいかを検証している。

2年計画の1年目である本年度は、SSごとのガソリン小売価格データ(2018年3月分)を購入し、それを既に入手済みの2016年3月分と接合することで、JXと東燃ゼネラルの統合(2017年4月)前後におけるガソリン価格の変化分を計算した。同時に、SSごとに、周辺地域における競争環境(競合系列のSSの有無等)に関する情報を数値化した。これまでに実施した回帰分析からは、JX系列と東燃ゼネラル系列のSSが併存する地域では、そうでない地域と比べ、2016年3月から2018年3月にかけての価格上昇幅が有意に高いという結果が得られているが、引続き計量経済モデルの精緻化や頑健性の確認が必要である。これらの作業に加え、来年度は追加データを購入し、観測時点を増やすことで研究内容を充実させる予定である。

2. 研究成果実績の概要(英訳)

The objective of this research project is to assess the validity of economic models and methods used by competition authorities during merger review. This is done by conducting an ex post evaluation of a recent merger. Specifically, I focus on the mergers of major Japanese petroleum companies that were approved by the Japan Fair Trade Commission (JFTC) in December 2016. In its review, the JFTC defined the geographic scope of the gasoline market to be the entire country, and noted that competition occurs horizontally at the refinery level between the major oil companies. The JFTC determined that, except for the fact that competition from imports is lacking, there is no reason to expect a lessening of competition in the gasoline market after the merger. Based on this determination, the two mergers were approved conditional on certain import–promoting measures.

My research is motivated by doubts about whether the economic model used by the JFTC for its decision-making accurately captured the workings of the gasoline market. In particular, I noted that competition between oil companies occurs not only country-wide at the refinery level but also locally at the retail level. By ignoring the latter, the JFTC may not have been able to correctly predict the effect of the mergers. To address this question, I am conducting an ex post evaluation of the effect that one of the mergers had on gasoline prices, using data collected at the level of individual gas stations. Specifically, I am comparing the change in price before and after the merger between two types of regions: regions where inter-brand competition decreased after the mergers, and regions where inter-brand competition remained unchanged. The hypothesis is that prices increased by a larger amount in the former.

The current year was the first of a two-year program. During the year, I acquired gas station-level data on retail gasoline prices for the month of March 2018. Combining this with data for March 2016, which was already in my possession, I calculated price changes before and after the merger between JX and Tonen General which was consummated in April 2017. At the same time, I collected and quantified gas station-level data on competitive conditions (existence of rival brands, etc.). Preliminary regression results based on these data suggest that gasoline prices increased by a greater amount between March 2016 and March 2018 in regions where JX and Tonen General competed, relative to other regions. I am currently refining the econometric model and assessing the robustness of the results. In addition to these tasks, during the next year I would like to acquire data covering additional time periods to improve the quality of my analysis.

3. 本研究課題に関する発表 発表者氏名 (著者・講演者) (著書名・演題) 3. 本研究課題に関する発表 発表学術誌名 学術誌発行年月 (著書発行所・講演学会) (著書発行年月・講演年月)